

チーム えがお



発行者:校長 岡田 達也

《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』
 ☆「かしこく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子
 ~ えがお かがやき がんばる 学校 おうえんだん 「チーム北川」 ~

学芸会 自分の みんなの『がんばる理由』!



11月19日(土)の学芸会本番に向けて、昨日16日(水)は予行を行いました。私は、前号でお伝えした月曜日の朝会での子どもたちの様子から、どうなるのかなと正直不安でいっぱいでした。しかし、私の心配とは異なり、この日の子どもたちの姿は見違えるようでした。自分の役割をきちんと自覚し、みんなですばらしい劇にするためにがんばろうという気持ちが伝わってくるものでした。自分なりの、みんなの「がんばる理由」を見つけたようです。

1年生にとっては小学校最初の学芸会、6年生にとっては小学校最後の学芸会とよく言われますが、実はどの学年の子どもたちにとってもすべて「一度きり」の学芸会なのです。今の学年で、今の仲間たちや先生と、今練習している劇を演じるのは「一度きり」。毎年、学芸会の時期はやってきますが、子どもたちにとってはすべて最初で、最後と言えます。だから、得手不得手に関係なく、自分や学級集団の全力を尽くすことが大切なのです。子どもたちにとっては、とても尊いことだと思います。

予行での子どもたちは、この一度きりの学芸会に向かって練習してきた成果を出し切ろうと、表情も真剣そのものでした。観ている他の学年の子どもたちや私たち教職員にも、一生懸命さが伝わってきました。本気になった子どもたちは、見違えるようでした。

そして、裏方の高学年の子どもたちのがんばりも忘れてはいけません。本番通りに係の仕事をきちんと果たそうと一生懸命に取り組んでいました。ぜひ、縁の下の力もちの5・6年生の子どもたちに拍手を送っていただけるとありがたいです。

子どもたち一人一人の力を学級全体へ、そして学校全体へと向けて、みんなの気持ちが一丸となって最高の演技を披露できるようがんばっています。どの子も、より高みを目指して、友達と力を合わせて最後まであきらめずにとことんやりきってくれることを願っています。「虹のかなたへとどけ みんなが主役の学芸会」のテーマの如く、笑いあり、涙あり、感動ありの学芸会です。どうぞお誘い合わせの上、多数ご来校くださいますようよろしく願いいたします。そして、みなさんの大きな声援や拍手と、あたたかな笑顔で、子どもたちに「勇気」を与えていただきたいと願っております。

こんな体験ができることに 心から感謝します!

先日10日(木)に、5年生は脱穀体験をしました。北川公民館や老人クラブ、保護者のみなさんのおかげで、とても貴重な体験をすることができました。「千歯こき」や「足踏み式脱穀機」で稲穂から粃を落とし、「篩(ふるい)」を使って粃と稲を分けてきれいにしました。最後に、「唐箕(とうみ)」に入れて粃殻やわらくずを風の力で取り除き、きれいな粃にしました。



子どもたちは、今では見ることがほとんどない昔の道具を使っての脱穀に悪戦苦闘しながら、とても楽しそうに体験していました。こんな体験ができることに、心から感謝しています。